

飲食料品値上げ、前年超え 10月までに1万4千品目 今夏も値上げラッシュ続く

5月の値上げは478品目、
ハム・ソーセージ、香辛料など対象

「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2025年5月



本件照会先

飯島 大介（調査担当）
帝国データバンク
東京支社情報統括部
03-5919-9343（直通）
情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/04/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次回調査の公表予定

2025年6月の発表は

2025年5月30日(金)午前9時

SUMMARY

2025年5月の飲食料品値上げは、合計478品目となった。
食品分野別では、ハム・ソーセージなど食肉加工食品が多くを占める「加工食品」(137品目)などが中心となった。
2025年通年の累計品目数は1万4409品目となり、前年実績を上回った。
飲食料品の値上げの勢いは、前年に比べて強い状態が続いている。

株式会社帝国データバンクは、2025年5月以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。

[注]

品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした
値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む

2025年5月の値上げ、478品目5カ月連続で前年超え

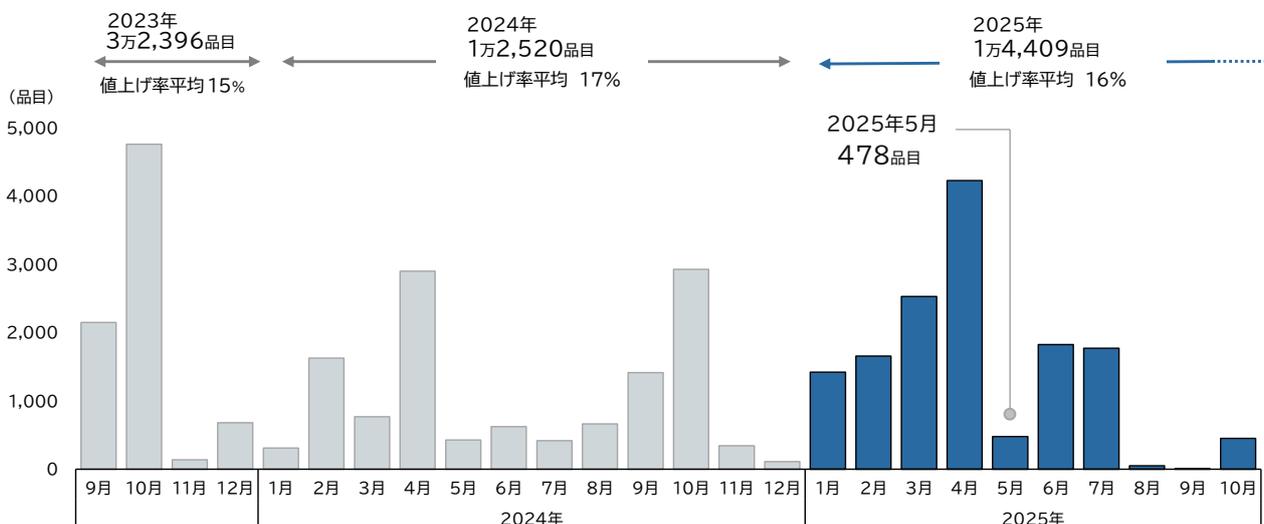
主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした5月の飲食料品値上げは478品目、値上げ1回あたりの平均値上げ率は15%となった。単月の値上げ品目数としては、1月以降5カ月連続で前年同月を上回った(+51品目・+11.9%)。5カ月連続での前年超えは、記録的な値上げラッシュの1年となった2023年6月以来、約2年ぶりとなる。

2025年5月の値上げを食品分野別に集計すると、ハム・ソーセージなど食肉加工食品が多くを占める「加工食品」(137品目)や、カレールーなど香辛料を中心とした「調味料」(192品目)が多くみられた。「酒類・飲料」(48品目)は、コーヒー飲料などが主な対象となった。

2025年通年の値上げは、10月までの公表分で累計1万4409品目にのぼり、前年通年の実績(1万2520品目)を超えた。1回当たり平均値上げ率は16%と、前年(17%)を下回った。食品分野別では、カレールーなどの香辛料製品やだし製品を中心とした「調味料」(4904品目)が最も多く、冷凍食品やパックごはんなどの「加工食品」(3685品目)、清酒やビール、清涼飲料水など「酒類・飲料」(2759品目)が続いた。また、既に6・7月単月で前年を大幅に上回る1000品目超の値上げが予定されており、2025年における飲食料品値上げの勢いは前年に比べて強い状態が続いている。

値上げ要因では、原材料の価格高騰や人手不足、流通コストに加え、近時は光熱費の上昇による値上げが再燃している。原材料などモノ由来(「原材料高」)の値上げが全体の97.9%を占めたほか、人手不足に伴う昇給・賃上げによるコスト増を背景とした「人件費」(52.0%)は、要因別の集計を開始した2023年以降で最高だった。また、特に6月以降の値上げを中心に電気・ガスなど「エネルギーコスト(光熱費)」由来の値上げが急増し、年間でも66.1%を占めるなど、2年ぶりに前年を上回る水準で推移した。トラックドライバーの時間外労働規制などが要因となった輸送コストの上昇分を価格に反映する「物流費」由来の値上げは79.7%を占め、前月調査時(81.8%)から割合が低下した。

月別値上げ品目数 推移(26カ月推移・4月30日時点)



[注] 主に全国展開を行う上場・非上場の主要195社の2022-25年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

今後の見通し

年間では約 2 万品目を予想、2022 年の水準に並ぶ可能性も

足元では食品や日用品を中心に買い控えが強まるなど消費者の値上げ疲れが鮮明となり、現状以上のさらなる値上げは消費者の節約志向を強めるリスク要因となっている。そのため、飲食料品メーカーでは内容量の減量による実質値上げを含め、難しい価格設定の判断を迫られる状況が続いている。ただ、2025 年は人件費や物流費などのコスト増を受けた価格転嫁の動きが続き、粘着性の高いインフレ圧力として飲食料品の値上げに強い影響を及ぼしている。

過去の円安による輸入コストの増加や、直近では海苔やチョコレートに代表される、国内外での天候不順による各種原材料高の影響も根強く残っている。近時は電気・ガスなどエネルギーコスト増による値上げで再燃の兆しもみられるなど、値上げ要因は多様化・複合化が一層進んでいる。足元では 1 ドル 140 円前後の水準まで円高が進み、2022 年以降の値上げで主な要因となった小麦粉で値下げの動きもあるものの、プラ容器など包装資材を含めた「モノ由来」「サービス由来」双方の値上げ圧力が強く、今夏以降も価格改定による採算改善を目指す動きが各社で続くとみられる。

2025 年の値上げは、年間累計では最大 2 万品目が予想されるが、飲食料品の値上げラッシュが本格化した 2022 年(2 万 5768 品目)に並ぶ水準に到達する可能性もある。

値上げ要因・食品分野別の品目数動向

値上げ要因の推移(品目数ベース)

	2025年	2024年	2023年
	1-10月	1-12月	1-12月
原材料高	97.9%	92.2%	96.2%
エネルギー	66.1%	60.6%	80.6%
包装・資材	60.2%	68.5%	60.6%
物流費	79.7%	68.1%	58.4%
円安 (為替の変動)	12.4%	28.1%	11.4%
人件費	52.0%	26.5%	9.1%

[注] 値上げ要因には一部重複を含む

食品分野別の値上げ品目数(2022 年~2025 年)

	2025年		2024年	2023年	2022年
	品目数 (判明分)	値上げ率	うち5月 品目数	1-12月 品目数	1-12月
加工食品	3,685	16%	137	5,757	11,838
調味料	4,904	12%	192	1,715	8,052
酒類・飲料	2,759	20%	48	2,652	6,175
菓子	759	19%	14	1,307	2,270
乳製品	677	8%	14	392	1,533
パン	1,440	6%	0	108	1,663
原材料	185	12%	73	589	865
合計	14,409	16%	478	12,520	32,396

参考：月別の値上げ品目数推移（～2025年10月）

年月	食品分野別							単位:品目	
	合計	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品	パン	原材料	
2022年	25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598	
2023年	32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865	
2024年	12,520	5,757	1,715	2,652	1,307	392	108	589	
2025年	14,409	3,685	4,904	2,759	759	677	1,440	185	
2023年	7月	3,595	836	619	32	242	41	1,591	234
	8月	1,197	202	409	47	179	360	0	0
	9月	2,148	541	1,257	89	213	39	0	9
	10月	4,758	891	306	3,198	193	50	0	120
	11月	139	5	39	77	18	0	0	0
	12月	678	1	505	0	5	167	0	0
2024年	1月	310	96	64	21	1	6	0	122
	2月	1,626	643	545	166	130	56	0	86
	3月	767	444	66	73	149	35	0	0
	4月	2,897	2,087	369	315	126	0	0	0
	5月	427	97	0	261	3	0	0	66
	6月	623	329	30	37	138	80	0	9
	7月	418	82	4	199	75	4	40	14
	8月	661	319	56	60	143	2	29	52
	9月	1,414	757	193	135	191	99	39	0
	10月	2,924	686	301	1,362	237	100	0	238
	11月	344	126	80	23	103	10	0	2
	12月	109	91	7	0	11	0	0	0
2025年	1月	1,419	58	0	0	87	10	1,264	0
	2月	1,656	589	357	266	329	96	0	19
	3月	2,529	1,381	14	534	140	284	176	0
	4月	4,225	659	2,034	1,222	70	207	0	33
	5月	478	137	192	48	14	14	0	73
	6月	1,825	703	962	33	61	66	0	0
	7月	1,770	115	1,345	205	51	0	0	54
	8月	49	43	0	0	0	0	0	6
	9月	7	0	0	0	7	0	0	0
	10月	451	0	0	451	0	0	0	0
前年(同月)比									単位:%
2022年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年	25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6	
2024年	△ 61.4	△ 51.4	△ 78.7	△ 57.1	△ 42.4	△ 74.4	△ 93.5	△ 31.9	
2025年	15.1	△ 36.0	185.9	4.0	△ 41.9	72.7	1233.3	△ 68.6	
2023年	7月	47.2	50.1	4661.5	△ 94.5	47.6	1266.7	94.3	△ 22.0
	8月	△ 52.4	△ 90.0	770.2	30.6	△ 54.5	-	△ 100.0	-
	9月	△ 26.4	△ 52.5	22.0	140.5	△ 53.0	△ 82.7	-	△ 75.7
	10月	△ 39.5	△ 55.9	△ 83.4	△ 15.4	12.9	4.2	-	1400.0
	11月	△ 91.2	△ 98.1	△ 92.3	△ 70.7	△ 72.7	△ 100.0	-	△ 100.0
	12月	240.7	-	320.8	△ 100.0	△ 50.0	406.1	-	△ 100.0
2024年	1月	△ 57.1	△ 74.9	△ 64.4	133.3	△ 98.8	-	△ 100.0	100.0
	2月	△ 71.2	△ 79.5	△ 60.9	△ 79.2	△ 37.8	180.0	△ 100.0	8.9
	3月	△ 78.1	△ 75.0	△ 86.2	△ 85.3	△ 75.7	84.2	△ 100.0	△ 100.0
	4月	△ 46.4	△ 8.3	△ 63.9	△ 66.8	△ 60.1	△ 100.0	-	△ 100.0
	5月	△ 49.0	△ 46.1	△ 100.0	△ 32.7	△ 92.5	△ 100.0	△ 100.0	-
	6月	△ 83.5	△ 79.6	△ 98.2	△ 60.6	△ 12.7	116.2	△ 100.0	△ 95.4
	7月	△ 88.4	△ 90.2	△ 99.4	521.9	△ 69.0	△ 90.2	△ 97.5	△ 94.0
	8月	△ 44.8	57.9	△ 86.3	27.7	△ 20.1	△ 99.4	-	-
	9月	△ 34.2	39.9	△ 84.6	51.7	△ 10.3	153.8	-	△ 100.0
	10月	△ 38.5	△ 23.0	△ 1.6	△ 57.4	22.8	100.0	-	98.3
	11月	147.5	2420.0	105.1	△ 70.1	472.2	-	-	-
	12月	△ 83.9	9000.0	△ 98.6	-	120.0	△ 100.0	-	-
2025年	1月	357.7	△ 39.6	△ 100.0	△ 100.0	8600.0	66.7	-	△ 100.0
	2月	1.8	△ 8.4	△ 34.5	60.2	153.1	71.4	-	△ 77.9
	3月	229.7	211.0	△ 78.8	631.5	△ 6.0	711.4	-	-
	4月	45.8	△ 68.4	451.2	287.9	△ 44.4	-	-	-
	5月	11.9	41.2	-	△ 81.6	366.7	-	-	10.6
	6月	192.9	113.7	3106.7	△ 10.8	△ 55.8	△ 17.5	-	△ 100.0
	7月	323.4	40.2	33525.0	3.0	△ 32.0	△ 100.0	△ 100.0	285.7
	8月	△ 92.6	△ 86.5	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 88.5
	9月	△ 99.5	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 96.3	△ 100.0	△ 100.0	-
	10月	△ 84.6	△ 100.0	△ 100.0	△ 66.9	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0